

第129号

# ひこね 市議会だより



## 平成27年3月定例会

(3月2日～3月25日)

- 3月定例会で決まったこと …… 2～9
- 3月定例会の代表質問 …… 10～11
- 3月定例会の個人質問 …… 12～19
- 特別委員会視察報告 …… 20
- 議員研修 …… 21
- お知らせ …… 22

新緑の玄宮園

インターネット中継やFacebookは [彦根市議会](#) で検索



## 彦根市介護保険条例を改正

### 保険料率負担の適正化

介護保険法の規定に基づく第6期の彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたり、保険料負担の適正化を図るため条例を改正し、保険料率の所得段階を現在の9段階から細分化することにより、全体で12段階の区分とするものです。

## 彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例を改正

### 燃やすごみおよび粗大ごみに係る処理手数料を引き上げ

一般廃棄物の処理に係る電気料金の値上げおよび燃料費の上昇により、ごみ収集や運搬、処分に係る経費が増加方向にあることおよび消費税相当額を含む金額にするため、手数料を引き上げるものです。



## 彦根市病院事業の設置等に関する条例を改正

### 病院事業について、地方公営企業法の規定の全部を適用した病院事業へと転換

病院事業について、責任の所在を明確にし、柔軟かつ迅速な意思決定を行うなど医療現場の実情に即した経営化を図るため、平成28年度から地方公営企業法の規定の全部を適用するとともに管理者を置きます。

#### — 地方公営企業法の全部適用とは —

これまで、地方公営企業法の会計基準等のみを適用していた病院事業に、組織や職員身分などの法の全ての規定を適用させることによって、病院の経営責任を明確にします。これにより体制の強化を図り、地域に信頼される病院をめざします。

### 彦根市立病院の内科および外科を細分化

近年の専門的に細分化された医療の分野に対応した専門の医師による高度な医療を提供するため、内科および外科を次のとおり細分化します。

内科 → 内科、消化器内科、血液内科、糖尿病代謝内科

外科 → 外科、乳腺外科、消化器外科

## 3月定例会の結果

# 3月 定例会の結果

3月25日に閉会した3月定例会の結果についてお知らせします。

市長から提出された予算15件、条例29件、その他議案2件の合計46件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。請願2件を不採択とし、意見書1件を可決しました。

また、議員から提出した条例2件を全会一致で可決しました。

### 彦根市教育委員会教育長の職務に専念する 義務の特例に関する条例を制定



教育長が教育委員会の会務のすべてを  
とりまとめる常勤特別職となりました

法律の一部改正に伴い、教育委員長の職務が廃止され、それに伴い教育長の職務に関して、必要な事項を定めるものです。

### 彦根市職員定数条例・ 彦根市消防団条例を改正

#### 消防職員の定数を増員

火災の予防、警戒および鎮圧、救急業務、人命の救助、災害応急対策等に関する事務を確実に遂行し、消防の責任を十分に果たすため、必要な消防職員を増員するために定数を改めるものです。



#### 消防団員に支給する報酬の額を引き上げ

消防団員の処遇の改善を図るため、出動、訓練その他の活動の実態に応じた適切な報酬の支給がなされるよう、消防団員に支給する報酬の額を引き上げるものです。

# 予算 822億8,355万円

一般会計：393億円  
特別会計：270億8,593万円  
企業会計：158億9,762万円

- ※特別会計：
    - ・国民健康保険事業
    - ・休日急病救急診療所事業
    - ・介護保険事業
  - ・下水道事業
  - ・農業集落排水事業
  - ・後期高齢者医療事業
  - ・水道事業
- ※企業会計：
  - ・病院事業

東西連絡自由通路を備えたJR稻枝駅舎の橋上化整備および駅改築整備に併せ、東西駅前広場と西口アクセス道路の周辺整備を行い、湖東圏域南部の玄関口として稻枝駅の利便性を高めます。



JR稻枝駅完成イメージ図

JR稻枝駅改築整備事業  
JR稻枝駅周辺整備事業

合計8億2430万8千円



彦根市学校給食センター

湖東定住自立圏共生ビジョンに基づき、彦根市立7中学校、豊郷町立1中学校、甲良町立1中学校、甲良町立2小学校の11校を対象とした学校給食を平成27年4月から実施しています。

湖東定住自立圏学校給食  
センター管理運営事業

4億3156万3千円

# 2015年度 彦根市当初



彦根市地域防災計画・彦根市水防計画

## 防災体制整備事業

5652万4千円

「彦根市地域防災計画」・「彦根市水防計画」等に基づき、防災体制の整備を図ります。現行の地域防災計画を全面的に見直すために防災アセスメント調査を実施する他、食料品や簡易トイレ等の備蓄、各種防災関連システムの維持管理を行います。



1630万9千円

## (仮称)平田認定こども園 整備事業

待機児童の解消や、平田幼稚園の園舎老朽化への対応として、新たに敷地内に「(仮称)平田認定こども園」として新築するための設計を行います。



小江戸彦根の城まつり

## 小江戸彦根の 城まつり事業

1766万2千円

彦根の秋を彩る最大の催しとして定着している「小江戸彦根の城まつり」を、市民や観光客参加型イベントとして実施するとともに、「井伊直弼公生誕200年祭」開催に併せて、演出面を強化することにより、さらなる集客を図ります。

## 議案等の審査結果

【賛否が分かれた議案・審議結果】(○：賛成 ●：反対 -：議長)

議案番号	件 名	結果	合口 典隆	辻 真理子	小川 喜一郎	北川 元気	山内 義勇	山田 多津子	上杉 正敏	徳永 ひで子	野村 郁雄	田中 滋廉	有馬 裕次	富田 茂雄	安瀬 勝	宮居 正徳	赤井 康彦	安藤 博	八木 嘉之	矢吹 安子	馬場 和子	西川 正義	渡辺 史郎	北村 邦江
議案第 1号	平成27年度(2015年度)彦根市一般会計予算	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 2号	平成27年度(2015年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 6号	平成27年度(2015年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 8号	平成27年度(2015年度)彦根市立病院事業会計予算	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第10号	彦根市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第16号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第19号	彦根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例および彦根市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第33号	彦根市子どもセンターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第35号	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第36号	彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第37号	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	-	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第 1号	集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく法整備の中止を求める請願書	不採択	-	○	○	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	
請願第 2号	年金の「マクロ経済スライド」発動中止の意見書採択を求める請願	不採択	-	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

## 議案等の審査結果

### 3月定例会の議決結果【全会一致で可決した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第3号	平成27年度(2015年度)彦根市下水道事業特別会計予算	可決
議案第4号	平成27年度(2015年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	可決
議案第5号	平成27年度(2015年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第7号	平成27年度(2015年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第9号	平成27年度(2015年度)彦根市水道事業会計予算	可決
議案第11号	平成27年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案	可決
議案第12号	彦根市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例案	可決
議案第13号	彦根市地域包括支援センターの人員および運営に関する基準を定める条例案	可決
議案第14号	彦根市農業農村整備事業分担金徴収条例案	可決
議案第15号	彦根市屋外広告物条例案	可決
議案第17号	彦根市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例案	可決
議案第18号	彦根市土地開発基金条例および彦根市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第20号	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案	可決
議案第21号	彦根市行政手続条例の一部を改正する条例案	可決
議案第22号	彦根市職員定数条例の一部を改正する条例案	可決
議案第23号	彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例等の一部を改正する条例案	可決
議案第24号	彦根市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第25号	彦根市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第26号	彦根市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第27号	彦根市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第28号	彦根市手数料条例の一部を改正する条例案	可決
議案第29号	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	可決
議案第30号	彦根市鳥獣の飼養の登録に関する手数料条例の一部を改正する条例案	可決
議案第31号	美しいひこね創造条例の一部を改正する条例案	可決
議案第32号	彦根市立図書館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第38号	彦根市消防団条例の一部を改正する条例案	可決
議案第39号	市道路線の廃止および認定につき議決を求ることについて	可決
議案第40号	工事の施行に関する協定の変更につき議決を求ることについて	可決
議案第41号	平成26年度(2014年度)彦根市一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第42号	平成26年度(2014年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第43号	平成26年度(2014年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第44号	平成26年度(2014年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第45号	平成26年度(2014年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第46号	平成26年度(2014年度)彦根市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
報告第1号	救急自動車の管理上必要な訴えの提起について	—
報告第2号	和解および損害賠償の決定について	—
報告第3号	損害賠償の額の決定について	—
意見書案第1号	農地中間管理事業における地域集積協力金の交付に関する意見書案	可決
委員会議案第1号	彦根市議会議員政治倫理条例案	可決
会議案第1号	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	可決

## 企画総務消防常任委員会

**消防力充実のため、消防職員定数を30人増の174人に**

企画総務消防常任委員会は3月17日に委員会を開催し、15件の議案、1件の請願について慎重に審査しました。

### 【審査】

- ・議案第10号、議案第11号、議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第20号、議案第21号、議案第22号、議案第23号、議案第31号、議案第32号、議案第38号
- ・請願第1号、集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく法整備の中止を求める請願書

### 【主な内容】

- 議案第10号および議案第16号は、国の法律の改正に伴い、教育長が教育委員会を代表する特別職となることにより条例の制定・改正をするもの。
- 議案第11号は、市の財政状況を踏まえ、平成27年度における市長・副市長・教育長の給料月額を、それぞれ7%、5%、3%減額するもの。
- 議案第20号は、彦根城の世界遺産登録の所管を教育委員会文化財部に一元化するもの。委員からは、企画振興部の方がよいとの意見があつた。
- 議案第22号は、消防庁が示す消防力の整備指針が定める施設・人材を目指して消防職員数を144人から174人と5年をめどに30人増の充実を図るもの。
- 議案第31号は、美しいひこね創造活動参加への登録事務等の簡素化を図るもの。
- 議案第38号は、消防団は地域の安全・安心を確保するうえで不可欠な組織であるため、その待遇の改善を図るもの。
- 請願第1号は、紹介議員より請願趣旨の説明があつた。また、本請願を採択することに賛成の立場から「これまでに同様の請願が4回出されている。集団的自衛権行使についての議論が十分になされていないのに、閣議決定による行使容認は許されるべきでない。まず、国会で十分な議論をするべきである」との発言があつた。

【結果】  
・議案はいずれも原案のとおり可決。  
・請願第1号は不採択。

**介護保険料率を細分化するなどの  
介護保険条例の一部を改正**

福祉病院教育常任委員会は、3月18日に委員会を開催し、9件の議案について慎重に審査しました。

### 【審査】

- ・議案第12号、議案第13号、議案第19号、議案第28号、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第37号

### 【主な内容】

- これらの中で、
- 議案第19号は、要支援1、2の方々が行政の独自サービスに変わることで行政の力量が問われることに
- 議案第33号は、子どもセンターに指定管理制度を導入することに
- 議案第34号は、コスト削減が大前提となっていることに
- 議案第35号は、基金を取り崩せば保険料を5円程度引き下げるうこと
- 議案第37号は、地方公営企業法を全部適用することで職員の身分保証に不安があることと独立行政法人へ進む可能性があること
- などの観点から反対の討論があつた。

【結果】  
・議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

### 彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正

市民産業建設常任委員会は3月19日に委員会を開催し、7件の議案・1件の請願について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第14号、議案第15号、議案第29号、議案第30号、議案第36号、議案第39号、議案第40号
- ・請願第2号 年金の「マクロ経済スライド」発動中止の意見書採択を求める請願

#### 【主な内容】

- 議案第15号「彦根市屋外広告物条例案」については、表彰制度のあり方や違反者の取締り方法、市長の認可・管理区分についての質疑があった。
- 議案第36号「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案」では、ごみ減量の指導についての質疑に対し、事業者については新年度から指導要綱を定め引き続き実施していくとの答弁があった。
- 議案第40号「工事の施工に関する協定の変更について議決を求めるについて」では、JR稻枝駅改築整備事業に伴う当初の協定書から金額がアップしたことの法的根拠の質疑に対し、当初の協定書の条項に基づき変更は可能であるとの答弁があつた。地質調査後の増額が発生したことについての質疑に対しては、実施設計後に追加工事が必要となつたためとの答弁があつた。
- ・議案はいずれも原案のとおり可決  
・請願第2号は不採択

### 3月25日の3月定期会の閉会後に議会改革特別委員会を開催しました。

改選後においても議会改革特別委員会を設置し、議会改革を進めるため、今まで協議した内容と、今後協議していくべき事項について確認して申し送ることとしました。  
活発な議論をするための委員会のあり方や、政務活動費の適正な支出などについて引き続き協議を重ね、市民の皆様に親しみのある議会を目指します。

### 議会改革特別委員会中間報告

議会改革特別委員会は、2月12日に委員会を開催し、以下の内容について協議、決定した。

#### ■彦根市議会議員政治倫理条例（案）について

協議の結果、これまでの協議会での議論を踏まえて作成した素案をもとに、彦根市議会議員政治倫理条例を制定することに決定した。

条例については3月定期会に上程し、平成27年5月1日より施行することとした。

#### ■その他について

- ・今後、議会改革特別委員会において協議すべき事項について委員からの意見を聴取したこと
- ・政務活動費の交付を後払いとすること
- ・政務活動費の領収書を全面公開とすること
- ・市議会のフェイスブックにおいて議員から情報発信すること
- ・ホームページやフェイスブック等で議会のスケジュールを公開すること

の4点について意見が出され、今後検討していくことを確認した。



質問者 北村 收議員

# 公政会

ような工夫が必要である。県に  
対しては、世界  
遺産登録と国体  
開催が両立する  
ような競技場の  
設計と周辺の景  
観を阻害しない  
よう求めていき  
世界遺産登録の  
早期実現をめざ  
す。



彦根城

Q ユネスコが指摘している国体競技場の建設予定地内のメインスタンンドの位置や高さの変更で、彦根城天守前から松原内湖跡や弁財天の眺望がクリアできることによって、世界遺産登録に向け光が見えてきたように思う。今後、登録に向けてどのような取組や、県に対しても、どのような要望を続けていくのか。

# 彦根城世界遺産の 取組と現況は

模や建設場所については今後、交通アクセスや利便性なども含め、広く市民の意見などを尊重し、財源確保も視野に、市内の均衡ある発展を考慮しながらでいるだけ早く結論を出せるよう検討する。



▲市民体育センター

**A** 平成29年度中に取り壊しが決まっている予定敷地内の彦根市民体育センターは当時の松原地域の地権者の理解と協力で建設された。今回、取り壊しと移転については、地元住民との協議が成されていない中、新しく建て直すのであれば、国体競技スポーツゾーンの一画に建設すべきであると思つが見解は。

市民体育センターについては、来年度調査費の予算を確保して、建設検討委員会を立ち上げ、教育委員会を中心に専門家などの意見も含

# Q 第79回国民体育大会への取組は



質問者 赤井 康彦議員

## 夢みらい

A

滋賀県と協議し検討する

彦根市の防災備蓄状況を見ると各避難所となる小学校体育館等に備蓄されている数と人口の割合が定まっていない。例えばクラッカーベーカー備蓄数は、城陽小850に対し城南小70、毛布は鳥居本小900に対し高宮小40であるが理由があるのか。

また、土砂災害危険地域に注意看板、浸水想定区域の電柱等に危険水域である浸水の深さを表示する事で目で見て実感できるのではないか。

A 各避難所の備蓄数には、保管スペース等の問題からバラつきが生じている。当面の措置として全避難所に備蓄品を整備することを優先させた為であり今後は避難者数等を考慮した整備をしていく。土砂災



▲彦根市民に配布されている防災マニュアル

Q 土砂災害・浸水想定区域の啓発を

Q 子ども子育て支援法で国への報告は

A

一時預かりでは増加と報告

看板や浸水想定区域の電柱等に浸水深の表示については、今後「湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会」の場などで滋賀県と協議しながら検討していく。

2人になると予想

A 幼稚園は平成26年度は1,376人在園しているが平成31年度は1,103人になると予想。また、幼稚園以外での一時預かりでは、平成25年度の実績は年間延べ3,300人であるが平成31年度は年間延べ12,19

3歳児の入園率は平成27年度で95.1%。3歳児のクラス定員を拡大したこと

しし国に報告。

する幼稚園への3歳児の入園率は平成27年度で95.1%。3歳児のクラス定員を拡大したこと



## Q 「ビワワイト」はバルブ産業の救世主では



辻 真理子議員

**A Q** 地方創生への提案は、「彦根市まち・ひと・しごと総合戦略」策定過程で検討したい。



▲彦根のバルブ

### A アメリカでも高い評価を受けている

**A Q** 工業界で産官学共同開発された「ビワワイト」はどのようなものか。

**A Q** 青銅鋳物の中で鉛を使わない素材で、環境負荷が少なくて環境規制の厳しいアメリカでも高い評価を得ている。

**Q** 「ビワワイト」の特許取得とJ-ISO登録は。

**A Q** それぞれ平成19年以降に取得・登録している。

拡販の取組は。

**A Q** 広報側面支援や関係官公庁へのPRに努める。

県への要望は。

**A Q** 滋賀県・彦根市での使用拡大への研究・検討を継続し

て

- ・神宮踏切・付近交差点改良工事は進んだのか
- ・市立病院の地域拠点病院への飛躍について

### その他の質問

### その他の質問

### その他の質問

### その他の質問

### A 他校区の一貫教育に範を示せるよう推進する

**A Q** 「確かな学力の育成」「心の教育の推進」「ふるさと教育の推進」の3点で、大きな柱として英語教育がある。中学校に一人一台のタブレットパソコンと、電子黒板を導入し、

子どもたちの考える力や表現する力を高めるため効果的に活用する。各教科にわたり少

人数のメリットを生かした児童生徒に寄り添うきめ細やかな指導を目指す。地域と深く関わり、世代を超えた交流や地域の持続発展に貢献する取組を行つ。

## Q 鳥居本小中一貫教育のビジョンは



安澤 勝議員



▲鳥居本学園のシンボルマーク

今後部活動を充実できないか

- ・説明が後手になつた事で見解を求める
- ・国体開催でひこにやんに新ホームページ検討を

## 個人質問

**A** 今まで以上に職員一丸となり対策を考える

**Q** 安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目のない支援にさらに力を入れるべきではないか。

**A** 現在も不妊治療費助成や妊娠から子育て段階での相談

**Q** 本市も人口減少局面に入っていると思われ、中心市街地の空洞化や少子高齢化の問題が生じており、職員全体で危機感を共有し、対策を考えていきたい。

**Q** 政府が閣議決定した、人口減少・超高齢社会への対応として今後取り組むべき将来の方向を提示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に対する市の見解は。



北川 元気議員

## 人口減少・超高齢社会をどう乗り越えるのか

事業、健康診査などに取り組んでおり、これら施策を体系的にまとめてアピールすることや、出産や子育ての様々な不安の解消に向けた支援についても対策として検討したい。



▲日本の将来推計人口

その他の質問

- ・IT活用の取組は当初予算にどのように活かされるか
- ・IT関連費用の見える化を進めるべきではないか

**A** 両河川事業を促進するよう県へ要望していく

**Q** 両事業ともあと2～3年での完成は難しいのでは。

**A** 早期完成を図るよう県へ

**Q** 安食川改修の進捗と事業概要、完成予定年度は。

**A** 26年度末進捗率は74%、27年度事業は賀田山工区の県道大津能登川長浜線から上流へ380mの排水路工事、全体の完成は28年度予定。



宮田 茂雄議員

## 南部広域排水と安食川改修の事業促進を

事業促進を要望していく。  
安食中町内の浸水対策は、管理者の県に要望する。県は2月25日の現地踏査を踏まえて実施可能な対策を検討していく予定。

その他の質問

- ・学校図書館の充実について
- ・県立高校再編による彦根統合新校の整備の現状について



## マイ・ナンバー制度の導入までの見通しは



馬場 和子議員

**Q** 情報漏洩やプライバシー侵害、不正利用による被害などの不安解消の手立ては。

**A** 制度とシステム両面から保護措置があるが、市民の制度への理解が何より重要。



**A** **制度を広く周知し、不安の払拭に努める**

**Q** 行政の効率化、国民の利便性向上、公平かつ公正な社会を実現するため導入されるマイ・ナンバー制度導入に際しての市の準備状況は。

**A** 現在、制度導入のためのシステム改修中で、28年1月から市民課窓口でカード交付。導入までの見通しは。

**A** 27年10月を目途に住民基本台帳に記載の市民に個人番号を指定し通知カードを送付、通知カードと引き換えに個人番号カードを交付する。

- Q** 周知・広報の方法は。
- ・国の広報活動に合わせ、市の広報やHPで情報発信、ポスター掲示等で周知する。
  - ・彦根市まち・ひと・しごと創生本部とは市立病院やくすのきセンター現状分析は平田こども園構想の見通しについて
- その他の質問**



## 市立病院は緊急手術を要す患者に責任を持つ



田中 滋康議員

長浜の2病院に協力いただくとともに、これが困難な場合は、他の病院にもご協力いただき、患者の受け入れ先の確保については、本院が責任を持つ。



▲市立病院の救急患者搬送用入口

**A** **本院が責任を以て緊急時の対応に取り組む**

**Q** 市立病院は、産婦人科医師が1名の現状であることから、24時間体制での対応は困難であるが、湖東・湖北における救急医療体制の中で他病院とも連携し、迅速な対応に努める。特に、婦人科における緊急対応を本院ができるない場合には、

女性疾患の卵巣嚢腫の茎捻転や子宮外妊娠、卵巣出血などは緊急手術をしなければ命に係わる疾病である。このような患者の受け入れを、市立病院がすること。受け入れが難しい場合には責任を持つて受け入れ先を紹介し、女性の命を守るために取り組むことに対する見解は。

- Q** その他他の質問
- ・市立病院の医師不足解消に向けた取組について
  - ・生活困窮者自立支援制度と生活保護の現状と改善について

## 個人質問

**A** 原因究明の調査・研究を引き続き求めていく

**Q** 琵琶湖岸の浜がけは20年前から顕著に現れてきており、周辺の住民から「これ以上浸食が進めば、集落にまで大きな影響が及んでくる」と不安な声がある。県の管理下だが当該市として見過ごせない問題である。市としての対応策はあるか。

**A** 未だ解明できていない浜がけの原因を特定する必要があり、県に要望していく。

**Q** 浜がけは松原水泳場から新海浜まで16キロにわたり起こっている。近年の異常気象や水位等も原因の一つと考えられるが、専門家などを交えた、調査・研究機関が必要である。



山田多津子議員



## 琵琶湖岸の浜がけは国や県との協同で対策を



## 投票率アップのための期日前投票の増設は

対処療法的な対策ではなく、抜本的な解決策が必要。

すでに県が砂浜のモニタリング調査を実施しており、市として浜がけを繰り返さない対策を国・県に求めていく。

**A** すでに県が砂浜のモニタリング調査を実施しており、市として浜がけを繰り返さない対策を国・県に求めていく。



▲浸食が進んでいる薩摩町湖岸

**その他の質問**

- ・介護報酬引き下げが及ぼす影響について
- ・教育への不当な支配を許さず、自主性ある教育行政を求める

**A** 市立病院や大学キャンパス等は研究していく

**Q** 大型商業施設の「期日前投票」等の投票状況は。

**A** 滋賀県知事選と衆議院選の2回ビバシティ彦根で期日前投票を実施し、「買い物ついでに投票ができる、便利。高齢者には利用しやすい。」という声を多く聞いた。施設の協力をいただき、4月の統一地方選挙はもちろん、その後も継続して設置していく。

**Q** 市立病院の待ち時間の利便は、考えられないか。

**A** 当面の間は、期日前投票所の増設は考えていないが、市立病院等の不特定多数の方が集まる施設や大学キャンパス内の設置等は、情報収集



矢吹 安子議員

し研究していく。

親子フォーラムへの出前講座をされては。

**A** 各小中学校の保護者会にも協力いただき、子ども達への啓発活動に取り組んでいく。



▶期日前投票所の様子



## 琵琶湖岸の浜がけは国や県との協同で対策を



## 投票率アップのための期日前投票の増設は

し研究していく。

親子フォーラムへの出前講座をされては。

**A** 各小中学校の保護者会にも協力いただき、子ども達への啓発活動に取り組んでいく。

**その他の質問**

- ・旧井伊神社社殿について
- ・彦根城世界遺産の構成資産にしては



## 27年度JR稻枝駅舎改築と周辺整備計画は



渡辺 史郎議員

**Q** 駅西口停車場線の新年度予定は。  
**A** 本年度までに、用地買収11筆、建物移転5件締結済。新年度に残る用地買収7筆と建物移転2件を予定している。



▲JR稻枝駅の仮駅舎

### その他の質問

- ・彦根市の公有財産管理と有効利用は
- ・市道芹橋彦富線・稻部本庄線の現況は
- ・稻枝東幼稚園、園舎改築整備について

**A** 供用開始は平成28年3月予定に変更はない

### その他の質問

- ・市長の公約と予算編成の整合性は
- ・これから始まる小中一貫教育について
- ・井伊直弼公生誕200年祭について



## 彦根市の幼保一元化の整備方針の見解は



安藤 博議員

成27年度に公立保育所・幼稚園の施設整備計画を策定、老朽化に伴う整備更新や、待機児童対策としての増築に併せて、認定子ども園として整備を推進する方針である。



▲彦根初の認定こども園となる平田幼稚園

### その他の質問

- ・今年度に策定する、市子ども・子育て支援事業計画の中で、今後、平田幼稚園も含め5園の公立幼稚園を認定子ども園に移行するとした。平

**A** 待機児童対策として今後5園を整備する予定

### その他の質問

- ・市長の公約と予算編成の整合性は
- ・これから始まる小中一貫教育について
- ・井伊直弼公生誕200年祭について

## 個人質問

**A** 「支えられる側」から「支える側」に

評価・改善したうえで平成29年度から実施する。  
助け合いの意識の醸成は、支えられる側から支える側に回つて担い手となつていただき地域福祉の活性化を図る。



▲楽しい宅老所のひととき



有馬 裕次議員

**Q** 大介護時代を地域が支える仕組みづくりは

**Q** 地方創生戦略の推進について

**A** 「強いひこね」のまちづくりに取り組む

対象に、電話による本市への立地に関する意向調査を実施し、将来の企業誘致に向けた施策展開の基礎資料に活用していく。



▲まち・ひと・しごと創生会議



上杉 正敏議員

**Q** 我がまちの「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」策定の取組は。

**A** 「彦根市まち・ひと・しごと創生本部」には、市長を本部長とする本部と次長クラスで構成するパンプアップチームと若手職員によるワーキングチームを設置し、新しいアイデアを取り入れ策定に取り組む。

**A** 産業の競争力強化や企業誘致への取組は。

本市においては、専門の調査会社に委託し立地可能性のある企業、特に健康、福祉、医療、環境等の成長分野の企業を探るために、3,000社を

その他の質問

- ・介護人材の確保は行政が行う介護支援員の養成講座が必要では
- ・予防給付の見直しを市民に説明する事は

その他の質問

**A** 要支援の介護予防訪問介護、通所介護を見直し、新しい総合事業としてモデル事業を実施、

地域の自主的な活動支援は、宅老所の全小学校区整備に向け支援や啓発に努める。

**A** 安心で暮らせせる仕組作りは、認知症初期集中支援チームや地域支援推進員を設置する。サービスの確保と提供は、生活支援コーディネーターを設置し地域資源の開発と二ーズのマッチングを図る。

**A** 就労を通じた高齢者の出番と居場所づくりを進め高齢者の社会参加を推進する。

**A** 介護予防給付の見直しは、要支援の介護予防訪問介護、通所介護を見直し、新しい総合事業としてモデル事業を実施、



## 農協解体、TPP推進から

## 市内農家を守れ



山内 善男議員

安倍政権はJAから監査機能を奪い、TPP反対の「要」を担ってきたJAをつぶそうとしている。さらに単位農協から共同販売、金融や共済事業を分離させ、米国資本や財界に売り渡す。



▲コンバインでの収穫作業

TPPは早期妥結といわれ「重要5項目」を守る約束は破られようとしている。

市長は、農協解体・TPP推進から地域経済を守る立場を明確に表明すべきでは。

**A** 我が国農業への影響緩和策を期待し、交渉協議の政府の動向を注視していきたい。

**Q** こだわり米などの作付けは甲良・多賀・豊郷では独自

その他の質問

- ・市立病院の地方公営企業法の全部適用で労働者と市民にとって何がかわるのか
- ・三津町への特別養護老人ホーム建設計画

**A** 広場やせせらぎの創出で愛される公園を

その他の質問

- ・観光ポスター・電光案内板等積極的な観光行政を
- ・市長の2年間の経験から信念のある彦根市の将来像は

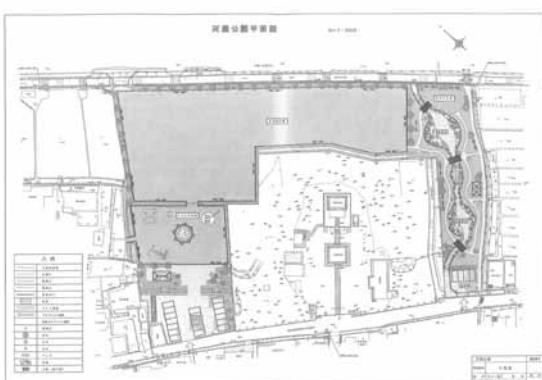


## 市民期待の河瀬公園完成までの計画と構想は



野村 郁雄議員

地元の皆様に意見を伺いながら公園の計画を策定し、河瀬公園が市民に愛される公園となるよう地元の皆様とともに整備を進め、一年でも早く早く完成をめざし最大努力する。



▲河瀬公園平面図

**A** 河瀬公園が一日も早く実現するために、まず平成27年度の取組はどうか。

**A** 多目的広場や駐車場等の位置について地元と協議し基本計画を策定する。

28年度からの計画は、実施設計を行い、29年度以降用地取得と工事にそれぞれ2年を予定し早く完成する。

**A** 総予算額はどうか。

**Q** 概算4億円で、具体的には実施設計で明確にする。

**A** 河瀬公園はどの様な構想で行うか。

**A** 広場やせせらぎを創生、災害時の一時避難地とする。

**Q** 市長の決意について伺う。

**Q** 河瀬公園はどの様な構想で行うか。

**Q** 河瀬公園はどの様な構想で行うか。

A

**A** 本市の将来にとつて  
相応しい建物を建設

**A** 本市の将来にとつて  
相応しい建物を建設

新設の体育館は、本市における体育の振興はもとより、体育館を通じて地域の活性化にも繋がるような、本市の将来にとつて相応しい機能と規模を持ったものでなくてはならない。

体育館新設に向けた市長の決意を問う。

**A** 27年度当初予算で調査費を要求していることから、体育馆建設の具体的な内容については調査結果を待つて対応することとなる。

しかし、新設体育馆に寄せる市民や競技団体等の期待も大きなことは承知している。



安居 正倫議員



## 新設する市民総合体育館の概要について

従つて、新設の体育館は単に、体育を行う場のみでなくあらゆる面において体育館を通じ本市経済の振興や地域の活性化に寄与する体育館を目指し真摯に取り組みたい。



▲現在の市民体育センター

彦根市議会では、3月定例会において、議員提案による条例案を上程し、全会一致で可決しました。

地方分権改革が推進される中、二元代表制の一翼を担う議事機関として、地域の多様なニーズを市政に反映できるよう、地方議会が果たす役割と責任はますます重要なになってきています。また、その一方で、政務活動費の不正受給問題等の地方議会における不祥事も全国的に発生していることから、彦根市議会では、政治倫理基準の遵守をはじめ、請負に関する制限、就業等の報告義務など政治倫理の基本的事項を定めることによつて、市民の代表として高い倫理観が求められる」と再確認し、良心と責任感を持ってその責務を果たし、そのことによって公正で民主的な彦根市政の発展に寄与するため、制定したものです。

## 彦根市議会議員政治倫理条例を制定しました。

## 議会改革特別委員会・議会開放推進委員会合同視察研修

議会改革特別委員会は、議会開放推進委員会と合同で、新聞社が実施した議会改革度調査において全国で第3位の岐阜県高山市と、市民との対話集会を精力的に実施されている岐阜県多治見市を視察した。

高山市では、「市民意見交換会」「政策討論会」「議会基本条例」「広報公聴・議会や議場開放」の取組について学んだ。特に、「市民意見交換会」は、地域別意見交換会と分野別意見交換会に分けて開催されており、地域別意見交換会は年間20回、分野別意見交換会は年間10回程度を開催しているとのことであった。

多治見市では、「市民と議会との対話集会」「議会基本条例」に関連した事項「政治倫理条例」について、ご教示いただいた。特に、「政治倫理条例」は、改選期の最初の議会で、倫理条例の読み上げを行い、条例を遵守することを誓い、全議員が署名捺印をされているとのことであった。

不斷の議会改革を進める彦根市議会として、今回の視察で学んだ事を参考にしていきたい。



▲合同視察の様子

視察日：1月26日～27日

### 岐阜県高山市

- ・議会改革の取組について  
市民意見交換会、政策討論会など

### 岐阜県多治見市

- ・議会改革の取組について  
対話集会、議会基本条例、政治倫理条例など

## 彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。前号以降の状況についてお知らせします。

日 時	議 会 名	視 察 項 目
1月22日	福島県白河市議会	小中一貫教育について
1月28日	岡山県笠岡市議会	人口減対策について「定住促進関係」
2月20日	佐賀県神埼市議会	美しいひこね創造活動について

今年度も29件という多くの議会からの行政視察を受け入れました。年間を通じて「歴史まちづくり事業」や「市街地再開発」、「商業振興基本条例」に関する項目についての視察が多くありました。

彦根市議会では、議会や委員会の開催日、また、担当課の業務都合によるものその他は、行政視察ができる限り受け入れるようにしています。

## 議員研修

### ハラスメント研修

開催日 平成27年1月16日(金)

市議会議員は、市民の皆さんへの負託を受け  
て議会活動を展開する立場にあることから、  
より研ぎ澄まされた人権感覚を持つことを目  
的に、滋賀弁護士会所属の森野有香弁護士を  
講師に迎え、「ハラスメントについて」と題  
して研修を実施しました。



セクシユアルハラスメントとパワー・ハラス  
メントに焦点をあて、具体的な事例を挙げな  
がらわかりやすくご説明いただき、また、議  
員からの数多くの質問に対しても、  
丁寧にお答えいただきました。

自身の人権感覚を顧みるよい機会となり、  
今後の議員活動はもとより、一市民として実  
のある研修になりました。

### 滋賀県市議会議長会議員研修

開催日 平成27年1月20日(火)

長浜市の浅井文化ホールで開催された議員  
研修会に参加いたしました。当日は県内の市  
議会議員や議会事務局職員が約250名参加  
し、彦根市議会からも20名が参加いたしまし  
た。研修では、「議会基本条例にみる議会改  
革の実践と課題」と題して、法政大学法学部  
の廣瀬克哉教授の講演をお聞きしました。北  
海道栗山町や三重県など、議会基本条例の先  
進地を例に

地方分権が進む中でいかに議会改革を進めるかご講義いたしました。

彦根市議会も議会基本条例を平成26年4月  
1日に施行したところであり、大変有意義な  
研修となりました。

### 長浜新庁舎視察

開催日 平成27年2月5日(木)

平成26年12月28日に竣工を迎えた長浜市新  
庁舎の議場をはじめ内部を見学させていただ  
き、特徴やコンセプト、建築に至る経緯など  
をお聞きしました。

これから庁舎の耐震工事を迎える本市の市  
議会議員として、参考にすべき点も多くあり、  
大変有意義な視察となりました。



## 追悼



3月9日に前川春夫議員が逝去されました。

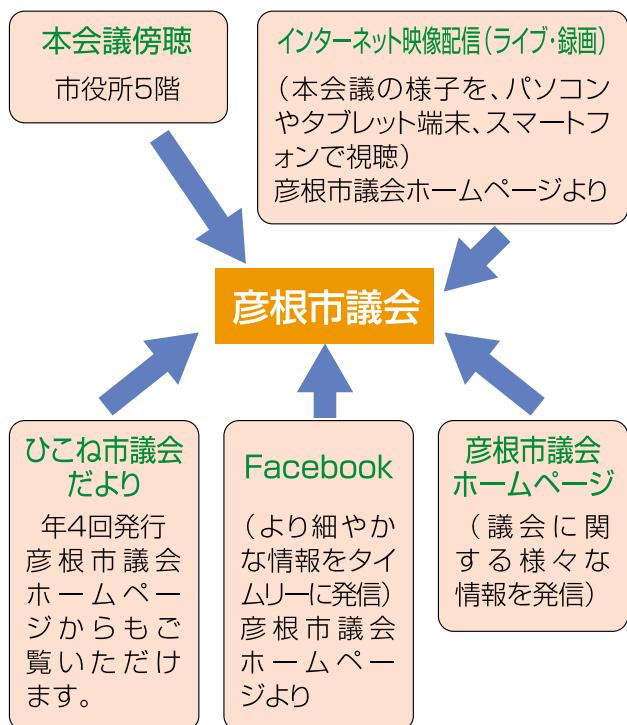
故前川春夫さんは、昭和54年5月から1期4年間彦根市議会議員を務められ、その後、平成11年5月に2期目の当選を果たされ、計5期20年の長きにわたり議員としてご活躍されました。特に、平成21年5月から1年間は、副議長として議長を補佐し、議会の発展にご寄与いただきました。

彦根市をこよなく愛し、まちづくりのために、全力を傾けてこられた故前川春夫さんの尊い信念を私たちは継承し、市政の発展に尽くすことを誓い、謹んで哀悼の意を表します。

## 身近な議会をめざして

彦根市議会は市民にとって身近な議会であります。

以下の様々な方法で議会情報を発信しています。簡単にアクセスできますので、ぜひ体験してください。



## 編集後記

平成27年度当初予算を議決し、大久保市の3年目が始まりました。国の経済政策が今のところ順調に進展しているとも言われていますが、高齢化、大都市一極集中の時代にあつては、地方に時間の余裕はありません。市民の皆様が議会と市政運営への監視の目を持ついただくことが大切なではないでしょうか。今後とも、多くの市民が議会の傍聴などを通じて、より一層市政にご参加いただくよう、お願いいたします。

彦根市議会議員として4年の任期を終え、第19期の議員として、最後の議会の結果をご報告させていただきました。

議会報編集委員会

ひこね市議会だより第129号  
平成27年5月1日発行

編集：議会報編集委員会 発行：彦根市議会 彦根市元町4番2号  
電話：0749-22-1411(代)、0749-30-6130(ダイヤルイン)

## 本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
6月 8日 (月)	開 会	9:00
6月15日 (月)		
6月16日 (火)	個人質問（予備日含む）	9:00
6月17日 (水)		
6月18日 (木)	予 算 特 別 委 員 会	9:30
6月19日 (金)	福祉病院教育常任委員会	
6月22日 (月)	市民産業建設常任委員会	
6月23日 (火)	企画総務消防常任委員会	9:30
6月25日 (木)	閉 会	9:00

※この広報紙は50,000部作成し、1部当たりの印刷単価は18円（1円未満切捨）です。